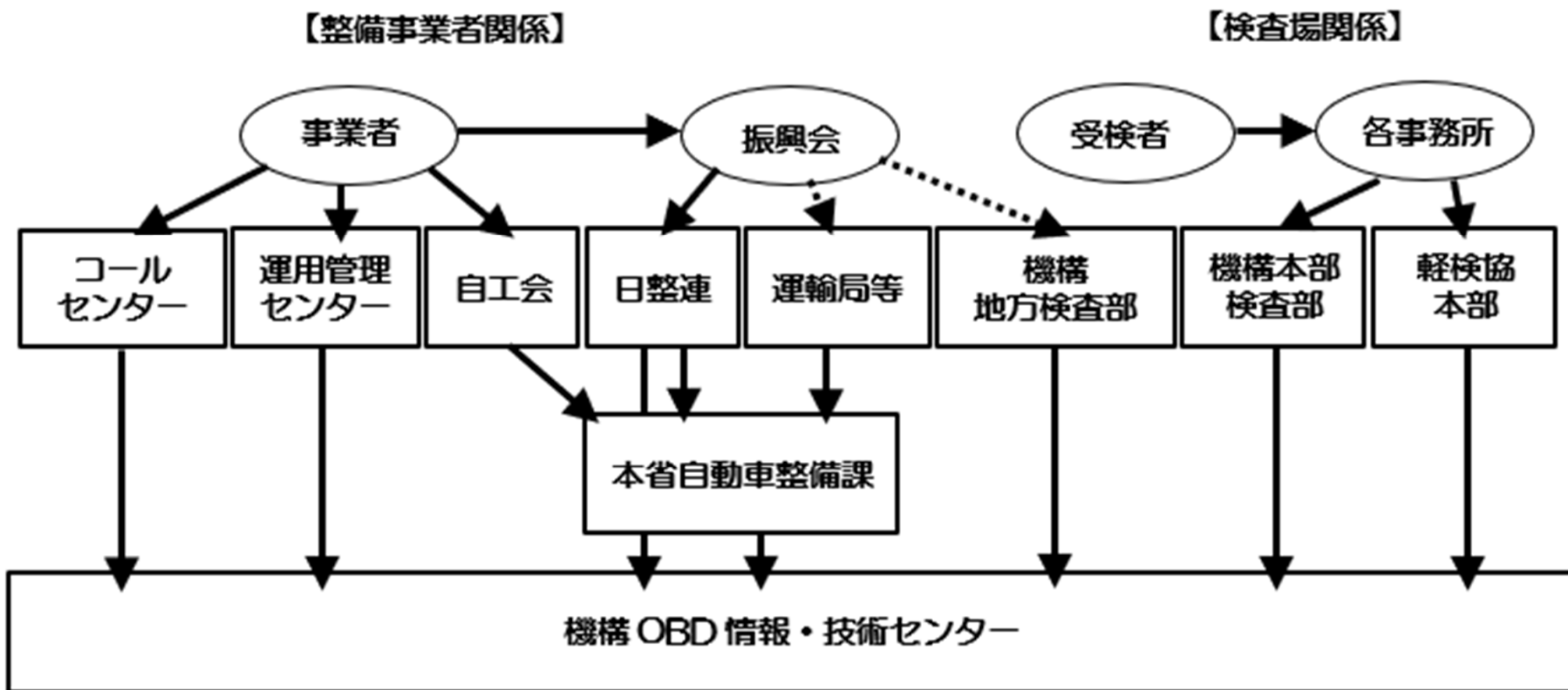


プレ運用等において明らかとなった課題

プレ運用等において明らかとなった課題の収集

- 10月1日から開始されたプレ運用を通じて明らかとなった課題について把握するため、整備事業関係者及び検査場関係者から情報収集を実施。
- 情報収集フローは下図のとおりであり、独立行政法人自動車技術総合機構において一元的に課題を集約することとしている。

※情報収集期間：令和6年1月18日～3月4日（左記期間以降も課題集約を実施中）



項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
1	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● ETCセットアップ用アプリケーション(QRコードリーダー?)が設定されたPCでは、<u>特定DTC照会アプリ</u>が使用できない。(トヨタ系ディーラー) 	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査コールセンターに詳細な事象をお伝えいただければ、個別に原因の調査をさせていただきます。
2	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● メルセデス・ベンツのOBD確認を実施したところ、検査不合格の判定とともに原因のDTCが表示されたが、<u>コードの説明が「不明な故障」と表示され</u>、保安基準に適合しない理由を特定できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両を特定する情報がないため、調査不能です。 ● システム上で「不明な故障」と表示されることはありません。 ● なお、OBD検査対象外の車両のOBD確認を実施した場合には、特定DTC自体は表示されますが、名称欄に「ー(ハイフン)」が表示される仕様となっています。この点、OBD検査ポータル内のチャットボット等において案内することを検討します。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
1	検査場	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査は「原動機が作動状態」で行わなければならないところ、誤って「原動機が停止した状態」で実施してしまった。 ● しかしながら、システムでは「適合」と判定された。 ● このように誤った試験状態で検査することを防止するハード対策はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「原動機が停止した状態」でOBD検査を実施した場合、OBD検査を実施していないこととなります(「検査の一部未実施」扱い)ので、ご注意ください。 ● システム側で原動機の作動/非作動(HV車等はREADYの状態)を判定できませんので、検査実施者の責任で適切にOBD検査が行われる状態を確保してください。
2	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD確認のため車両情報を入力後、検査用スキャンツールを誤って別の車両接続してOBD確認を実行してしまった。 ● この結果はどのように処理すべきか。検査結果はサーバーに残っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 改ざん防止の観点から、OBD検査又はOBD確認の結果を消去することはできない仕様となっており、検査結果はサーバーに残り続けます。 ● しかしながら、ご指摘のようにOBD検査又はOBD確認を実施した整備工場が明らかに誤りに気付いているにもかかわらず、検査結果が残り続けることは適当でないため、検査結果を削除できるようにするシステム改修を検討します。
3	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定DTC照会アプリを立ち上げると全画面表示で固定されてしまいマルチウィンドウ表示ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘の問題を解決するため、システム改修を検討します。
4	認証	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査を実施する権限を有さない「認証工場」でも、システム上、検査員として登録できてしまう。 ● 誤って登録できないようシステムでブロックしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「認証工場でも工員を検査員として登録できる仕様」については、以下の利用者利便に配慮したものです。 <ol style="list-style-type: none"> ① 認証工場から指定工場になる場合に、あらかじめ工員を検査員として登録することを可能とする。 ② 指定工場が行政処分を受けて、一時的に指定業務を行えない場合に、検査員から工員への都度の変更登録を不要とする。 ● なお、仮に、認証工場が工員を誤って「検査員」登録しても、認証工場にはOBD検査モードの使用権限が付与されないため、いずれにせよOBD検査モードを利用することができず、法令違反を行うことはありません。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
5	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査に使用するパソコンやスキャンツールが故障する等により、他の機器に変更しなければならないとき、速やかにアプリ登録等が出来るよう招待コードの発行までの時間を短縮して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● クライアント証明書用招待コードの発行に当たっては、申請内容を確認する必要があり、現状では、当日中または翌業務日に発行しています。 ● なお、故障時に備えて事業場内に予備のPC端末がある場合は、予めクライアント証明書をインストールしていただくことは可能です。
6	指定 認証	<ul style="list-style-type: none"> ● 「二次元コードリーダー」について、推奨されるスペックなどの情報を知りたい。ポータルサイトに掲載して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市販されている「二次元コードリーダー」には、機器により複数の仕様があることを承知しています。(1つずつ読み取る、複数のQRコードをまとめて読み取るなど) ● ご要望を踏まえ、機構において「二次元コードリーダー」の仕様(読み取りモードの違い等)を分類した上で、「<u>二次元コードリーダー</u>」のメーカー等からの申請に基づき、当該分類ごとに、メーカー名、型式名などをOBD検査ポータルに掲載することを検討します。
7	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査(確認)実施時、特定DTC照会アプリに車両情報を記録する機能をつけてもらいたい。 (理由) 車両情報の記録機能があれば、複数台の車検証をアプリ内に読み取り(取り込み)、その後、各車両のOBD検査を実施することで、車検証読み取りの作業とOBD検査の作業を分けることが可能となり、より効率的にOBD検査業務が進められるため。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえ、システム改修を検討します。
8	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンでなく、スマートフォンでもOBD検査をできるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンでOBD検査を行うためには、OBD検査システムを、スマートフォンのOSとして広く搭載されているAndroid又はiOSに対応させる必要があります。 ● Androidへの対応については、令和7年度中(中頃を想定)を目途に準備を進めています。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
9	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査が完了していない車両について、誤ってOSS申請してしまうことを防ぐため、そのような場合には、OSS申請時に「OBD検査情報無し」等の警告表示又は「OBD検査対象車両のため更新不可」等のエラー表示ができるようにしてほしい。 ● 政府として検査・登録手続の電子化を進めているのであれば、OBD検査情報との連携は必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 同様のご要望は各所から頂いています。 ● 今後、実現に向けてどのような課題があるか、関係者間で研究を行ってまいります。
10	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査結果の合否を外部プログラム(各システムベンダーの保適証発行システム)から問い合わせできるようにしていただきたい。 ● OBD検査が不適合の場合に、保適証発行にストップがかかるようにしてほしい。 	

- 10インチ、11インチのノートPCで利用者管理システムを開くと、拡大率100%（標準）にかかわらず画面上で検索結果が1つしか表示されない。
- また、スクロールボタンも小さく利便性が非常に悪い。
- 画面サイズの拡大/縮小のアドバイスを受けたが、画面全体が小さくなり、結果、文字も小さくなり見づらい（特に高齢者）のでレイアウトの見直し等を検討してほしい。
- また、安価なPC等は解像度等のスペックが低いものもあるので推奨解像度等があるのであれば、マニュアル等に記載してほしい。

- ご指摘を踏まえ、標準的な拡大率で複数の検索結果を確認できるように、今後、レイアウトを検討し、システム改修を行います。
- また、解像度により画面の見え方が異なることを踏まえ、マニュアル等において、画面サイズ毎の推奨解像度に関する周知が必要か否かについても検討してまいります。

11 振興会

拡大率100%

拡大率70%

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
1	認証	<ul style="list-style-type: none"> ● 第4回準備会合資料【参考資料1-3】「自動車特定整備事業者等における OBD 検査及び OBD 確認の取扱方針について」中の別添5. (5)①「<u>自動車特定整備事業者が点検整備を行った車両以外の車両に対して OBD 確認を実施しないこと。</u>」にある点検整備とはどこまでの作業範囲をいうのか。必ずしも12、24か月点検をしていなければならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 12か月点検・24か月点検に限らず、何らかの点検整備を行った車両であれば、「点検整備を行った車両」に該当します。 ● なお、OBD確認のみを受託して実施することはできません。
2	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指定整備事業の変更届」に検査用スキャンツールのバージョンを記載する必要があるのか確認したい。 ● また、この際、①ファームウェアとドライバーの両方を記載する必要があるのか。②型式認定後、バージョンが更新されている製品については、いつ時点のバージョンを記載すればよいのか(機工協HPが更新された時、スキャンツールがアップデートされた時等) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指定整備事業の変更届」においては、「能力欄」に届出時点におけるスキャンツールのファームウェア及びドライバのバージョン情報を記載してください。 ● なお、届出後、アップデート等によりバージョンが更新されても、都度の変更届出は必要ありません。 <p>※ 検査用スキャンツールの中には、OBD検査未対応の既製品のソフトウェアアップデートにより対応するものがあるため、初回届出時のみバージョンを確認することとしていますが、以降のバージョンアップにより検査用スキャンツールの機能が失われることは通常想定されないため、以後のバージョン届出は不要とするものです。</p>
3	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定整備事業の共同使用先となっている「整備協同組合」(認証の有無問わず)ではOBD検査は実施できないのか。OBD確認のみ実施可か。 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>指定整備事業者が</u>、当該整備協同組合の施設を共同使用して「OBD検査」を行うことは可能です。 ● <u>認証工場が</u>、当該整備協同組合の施設を共同使用して「OBD検査」を行うことはできませんが、「OBD確認」を行うことは可能です(借用使用) ● <u>認証工場以外の者(未認証工場等)が</u>、当該整備協同組合の施設を共同使用してOBD検査又はOBD確認を行うことはできません。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
1	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● 整備事業者が、検査用スキャンツールのファームウェアとドライバーのバージョンを確認する方法がわからず、苦労している。 ● 各ツールメーカーは、ファームウェアとドライバーのバージョン確認方法をHP等に掲載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご要望を踏まえ、ファームウェアとドライバーのバージョン確認方法をHPに掲載するよう、会員各社に相談します。 (機工協・自機工)
2	認証	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査又はOBD確認に当たり、ユーザーから個人情報使用の承諾書をもらう必要はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査又はOBD確認のために承諾書をもらう必要はありません。
3	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● (第4回準備会合でも議論があったが)本社から何ら指示がないため、プレ運用期間中にOBD検査を実施できていない。 ● 社内セキュリティの問題もあってまだパソコンにアプリをインストールしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車メーカー各社に確認したところ、傘下ディーラーに対して案内済みである由です。 ● 社内のセキュリティの問題については、OBD検査コールセンターにお問い合わせいただければ個別に対応します。 ● 詳しくは「資料5-2 メーカー系列販売店の準備状況」をご参照ください。
4	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● 早い時期に振興会による一括申請でID登録を完了したが、その後OBD検査への対応のため、自社で何をどこまで終わらせているのか分からない。 ● ログインをしておけばよいのか、アプリを起動していないといけないのか、どこまで作業する必要があるのか教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査の開始までに、整備工場において準備いただきたい内容を参考資料4「OBD検査の始め方」にまとめました。 ● 同じ資料を、OBD検査ポータルにも掲載しますので、ご覧ください。
5	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● システムID・アプリケーション・検査用スキャンツールを揃えたので、工場内習熟のためにプレ運用でOBD検査を実施しようとしたが、OBD検査対象外の車両では「対象外です」と表示されるだけとなってしまう、練習にならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プレ運用期間中は、アプリの操作方法の習熟は、『OBD確認』モードで実施してください。(OBD検査対象、対象外にかかわらず実施できます※) <p>※ プレ運用期間中は、『OBD検査』の法令適用前であるため、車検証に「OBD検査対象」と記載されていても、アプリで「検査要否確認」を行うと「OBD検査不要」である旨の応答となり、適合/不適合の判定までおすすめしません。</p>

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構等の対応
6	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● 既に保有している整備用スキャンツールが検査用スキャンツールとして型式認定されたが、ドライバーのインストール方法がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえ、会員各社に、ドライバーのインストール方法をHPにわかりやすく掲載すること等を相談します。 (機工協、自機工)